

べっかい

SEP 1999

No.431

9



障害のある人もない人もともに

そーれ、ひっばれ、ひっばれー。盛り上がる綱引き。応援の声が体育館いっぱいに響きわたります。8月10日、別海町社会福祉協議会主催で開催された第5回「すばれくまつり」の一場面です。このまつりは、高校生が中心となって、障害のある人もない人もともに（ノーマライゼーションの理念）交流・親睦を深めることを目的に開かれています。

♥全国的に公平な認定ができるように工夫しています。

- ①コンピュータによる判定をもとに、全国共通の心身の状態の例に照らして「審査判定」を行います。
- ②訪問調査の方法のマニュアルを作り、調査員の研修を行います。
- ③介護認定審査会での審査判定のマニュアルを作り、委員の研修を行います。
- ④全国の市町村で、ばらつきがでないよう情報を広く共有します。

♥認定結果に不服がある場合、道の「介護保険審査会」に申し立てができます。



直接申し込みもできます

要介護認定

認定

通知

♥要介護認定は、原則として6カ月ごとに見直されます。

要支援

要介護1

要介護2

要介護3

要介護4

要介護5

非該当

通知

♥認定されなかった高齢者でも、町独自の事業として介護保険以外のサービスを受けられる場合があります。

自立

(介護保険のサービスは受けられません。)

居宅介護支援事業者
(ケアプラン作成事業者)

介護サービス計画の作成

在宅サービスの利用

紹介

施設への入所

直接申し込みもできます

介護保険制度 平成12年4月1日スタート

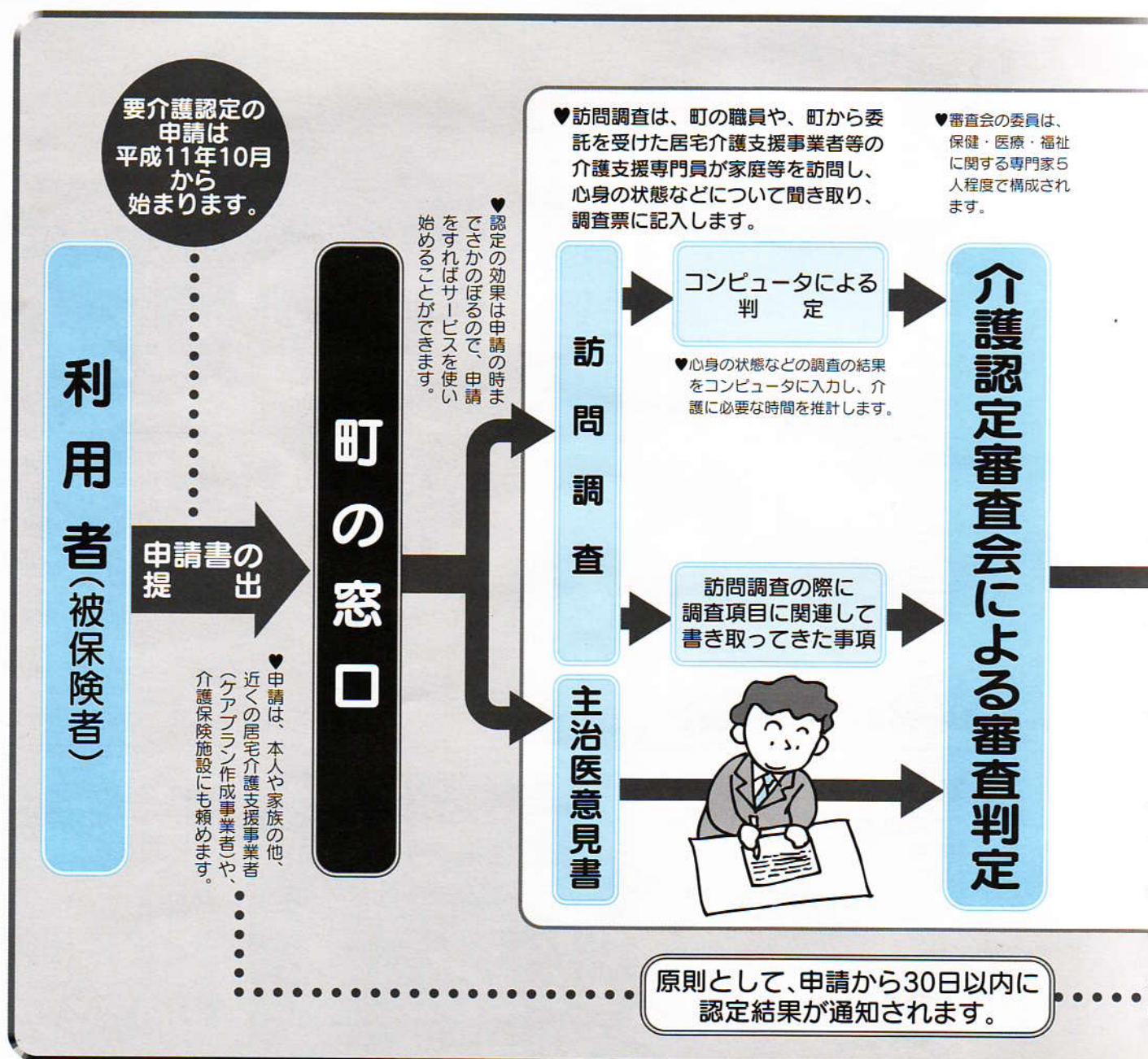
要介護認定の申請 平成11年10月受付開始

介護保険制度は、本格的な高齢化を迎え介護が必要な高齢者が急速に増えている中、安心して老後を過ごすよう、介護を社会全体で支える制度で平成12年4月1日から始まります。

介護保険からサービスを受けるためには要介護者または要支援者の認定（要介護認定）を受ける必要があります、その要介護認定の申請がいよいよ平成11年10月1日からスタートします。（現在、特別養護老人ホーム及び老人保健施設入所中の方については、施設を通じて申請期日をお知らせします）

申請をされる方は、次の窓口申請書を提出して下さい。

（申請窓口）保健課介護支援係、町民福祉課国民健康保険係、各支所・出張所
認定の手順は、下図のようになっております。





ふるさと
故郷ふれ愛フェスタ'99

八月一日、交流館ふらと横の多目的広場で故郷ふれ愛フェスタ'99が開かれました。
このイベントは、町内の農業・漁業・商業といった異業種の青年たちがふるさとを見つめ直し、交流を深めようと開かれているものです。
会場にはフリーマーケットや味覚市、物産市、ビンゴゲームやよさこいソーランなどが行われました。よさこいは、町内の五チームが参加。札幌市の平岸天神（札幌市で開かれたよさこい大会で優勝チーム）もかけつけ、大勢の人でにぎわい、楽しい一日を過ごしました。



救急救命スタート

八月五日に救急救命業務を開始する根室北部消防事務組合別海消防署は、八月四日、同組合の小林勇消防長、町立別海病院の今村洋院長の立ち合いのもと、別海消防署で救急救命業務の査閲が行われました。

救急救命士は、救急車から病院に運ぶまでの間、気道の確保や心臓への電気ショック、点滴など医師の指示を受けて行うことができます。

救急救命士の山桑貴光消防士（二十七歳）は、昨年の十二月に資格を取得し、同病院で訓練を続けてきました。

現在救急救命士は一人ですが、最終的に八人を配備する予定です。



白寿
99歳
おめでとう



八月十七日、中西別137の5に在住の中山貞一さんが満九十九歳の誕生日を迎えられ、白寿のお祝いに訪れた佐野町長、佐野社会福祉協議会長から、花束と記念品が手渡されました。

中山さんは、明治三十三年八月十七日生まれ。昭和五年から町内に移住しております。趣味は散歩と八十歳から始めた書道で、長生きの秘訣は牛乳を飲むことだそうです。

長寿 90歳 おめでとう

町内在住五十年以上で九十歳になる方を祝う「別海町長寿賞」を目黒武雄さん（明治四十二年七月二十九日生まれ別海142の32）と三人の方が受賞し、長寿賞と記念品が手渡されました。



芳賀 ナツさん
明治四十二年八月五日生まれ
特別養護老人ホーム清翠園に入所中



久保田 ハナさん
明治四十二年三月五日生まれ
特別養護老人ホーム清翠園に入所中



生江 初美さん
明治四十二年八月八日生まれ
西春別162の6

一日看護体験

八月十一・十二日、町立別海病院で一日看護体験が行われました。

この事業は北海道看護協会が行っている活動の一つで、今年で十回目。保健婦、助産婦、看護婦等の日頃の仕事を見学したり、接することによって看護婦（士）への理解を深めることを目的としています。

今年も別海高校の生徒十五人が二日間に分かれて老人ホーム、老人保健施設、病院などを訪問しました。車椅子の介助や食事配膳・介助、赤ちゃんのおむつの取り替えや体を洗ったりと緊張した面持ちで、日頃の看護職の仕事を体験しました。



五十四回目の 戦没者追悼式



別海町戦没者追悼式が終戦記念日の八月十五日、中央公民館で行われました。

式典には戦没者の遺族など約二百人が参加。佐野町長が戦没者への追悼の辞を述べた後、参列者は戦没者の冥福を祈り、次々と祭壇に献花しました。

その後、正午の時報を合図に全員で一分間の黙とうをし、五十四回目の終戦記念日に平和の尊さをかみしめました。

みんなで親睦深めよう

高齢者親睦スポーツ大会

七月二十七日、陸上競技場で第二十二回別海町高齢者親睦スポーツ大会が開催されました。

この大会は毎年行われ、町



内に住む六十歳以上のお年寄りにスポーツを通じて親睦を深めながら健康保持に役立ててもらおうと行われています。当日は天候に恵まれ、九チームに分かれた各地域の選手たちは、「じゃんけんリレー」や「玉入れ」、タオルにボールを入れて走る「仲良し安全運転」など十一種目に参加し、楽しい一日を過ごしました。

【優勝】中西別【準優勝】西春別B【三位】別海B

また大会の前に、七十五歳以上の方を対象に行われた「高齢者健康コンクール」、八十歳以上で自分の歯が二十本以上ある方を対象にした「8020運動」の表彰が行われました。

【別海町高齢者健康コンクール】

○別海一 小倉ハナさん、

○準別海一 横山弘太郎、

○優良 今野寅治さん、阿部勝さん、真籠正人さん

【別海町8020運動】

○歯っぴい賞

石坂末登さん、鎌田きみ子さん、志渡丈士さん

○歯つらつ賞

和田山由春さん、天岡覚誠さん、今西利雄さん

自然の素晴しさを体験

八月一日、別海地区子ども会育成協議会（木嶋正毅会長）主催で、西別川いかだ下りが行われました。

この活動は親子のきずなや子どもたちの友情を深めながら、自然の素晴しさを体験しようと毎年行われています。子どもたちが工夫をこらして作ったいかだは、町営スケートリンク横から出発し、六キロ先のゴールまで自然を満喫しました。



西別川いかだ下り

また、八日には、中春別で別海町自然に親しむ会（佐々木茂成会長）主催の春別川クリーンいかだ下りが行われました。



集めたゴミ



春別川クリーンいかだ下り

した。

今年は北海道建設部の「確かな川づくり推進事業」の一つとして、釧路土木現業所も共催で参加しました。

始めに川と川沿いに分かれてゴミ拾いをし、その後、十一隻のいかだで三キロ先までの小さな冒険を楽しみました。



教育委員会通信

夏休み社会体験学習 本州の少年・少女との交流相次ぐ

《香川県の中学生在が訪問》

燗製づくりなど体験学習で交流

香川県塩江町の中学生10人が7月27日から4日間にわたり別海町を訪れ、中学生との交流や自然体験を満喫しました。

別海町の友好都市である大阪府枚方市が塩江町とも友好都市である縁で、友好都市少年少女ふれあいの翼事業として今年初めて訪れたものです。塩江町の中学生たちは町の酪農研修牧場で牛舎の清掃や搾乳に挑戦し、野付中との交流では同校の生徒とともにホタテの燗製づくりや夜のキャンプファイヤーなどを楽しみました。

ホタテの燗製づくりに初挑戦



《秋田県の中学生在が訪問》

ホームステイで酪農体験

今日から私たちの家でホームステイ（よろしく）



秋田県八森町の中学生5人が7月27日別海町を訪れ、上風連中の生徒と交流し、30日に別海町を離れました。

八森町は、別海で4代にわたってアイヌ語の通訳を務めた「加賀家」のルーツ。この縁で、両町は青少年派遣などを通して親交を深めています。

八森町から中学生が訪問したのは今年で6回目。4日間にわたり、上風連中の子供たちとホームステイを通して酪農体験学習を行ったり、野付半島、新酪農村を訪れるなど「別海の夏」を楽しみました。

《友好都市枚方市へ中学生を派遣》 カヌー体験学習などで交流

別海町内の中学生が友好都市大阪府枚方市などで研修する「少年少女ふれあいの翼」（8月2日～6日）に参加し、無事帰町しました。

昭和62年に友好都市提携を結んだ枚方市とは平成5年から毎年夏休みに中学生が交互に訪問、体験学習などを通して交流を図っており、今回は別海町から引率を含めた25人が訪問。市内中学校でのカヌー体験では、大阪の暑さにバテ気味だった別海町の子供たちだが、慣れてくるとカヌーがスイスイと進むように。「枚方の生徒とも仲良くなった」と喜んでいました。

一行は枚方市のほか、広島原爆ドーム・平和記念公園や大阪の上方演芸資料館など、日本の歴史・文化にも触れることができ、有意義な夏休みとなりました。



カヌーに挑戦する別海の子供たち（上手でしょう？）

9月1日からスタート 子育ての悩みをご相談ください。

○幼児は「健やか子育て相談室」へ

教育委員会では、むずかしい子育ての支援をするため、9月1日から中央公民館2階に設けましたので、一人で悩まずにお電話をください。

相談員／生涯学習推進アドバイザー 田村ケイ子さん

☎5-3935直通 火～金（13:00～17:00）

○教育上の悩みごとは「教育相談室」へ

小・中学校生をお持ちのお父さん。お母さんの悩み・心配事相談を行っています。

相談員／指導主幹 小崎良一氏

☎5-2111（内線410）月～金（9:00～16:00）

○いじめ等の相談は

「こどもホットライン」へ

個人の秘密は守られます。

相談員／

指導主幹 小崎 良一氏

☎5-0005（直通）

月～金（9:00～16:00）

ビ ツ コ
来っ子
か月健診一



村山 かなちゃん
(利昭)



菊地 香帆ちゃん
(信治)



金子 京夏ちゃん
(勝)



渋谷 清美ちゃん
(順一)



畠山 航平くん
(薫)



境田 莉千ちゃん
(善夫)

町立別海病院

9月診療案内

小児神経外来

9月10日(金)

担当医師 札幌医大 舘 延忠助教授

耳鼻咽喉科

9月13日(月)～9月14日(火)午前

担当医師 札幌医大 上村 正見医師

9月27日(月)～9月28日(火)午前

担当医師 札幌医大 坪田 大医師

皮膚科

9月2日(木)～9月3日(金)午前

担当医師 札幌医大 近藤 靖児医師

9月16日(木)～9月17日(金)午前

担当医師 札幌医大 松坂 英信医師

* 9月2日及び9月16日の午前の診療は10時30分から開始します。

外科

外科診療は手術・検査のため、毎日午後の診療は休診となっていますのでご了承ください。

なお、午後は薬の処方もできませんので、ご注意ください。

携帯電話の使用について

携帯電話は、病院内の医用電気機器に影響を及ぼす場合がありますので、病院内では電源を切ってください。

問い合わせ

町立別海病院管理係 ☎ 5-2311(内線201)



10月の保健業務予定

日	曜日	予定内容	場 所	時 間
1	金	別海市街地区食生活改善講座	町民保健センター	10:00~14:00
"	"	中春別地区食生活改善講座	団地センター	11:00~14:00
4	月	乳幼児相談	町民保健センター	10:00~14:30
"	"	高血圧予防相談	町民保健センター	10:00~15:00
"	"	物忘れ相談	町民保健センター	電話予約
5	火	乳幼児相談	西春別ふれあいセンター	10:00~14:00
"	"	母親教室	母子健康センター	13:00~15:00
6	水	乳幼児相談	東公民館	10:00~11:30
7	木	西春別地区食生活改善講座	西公民館	11:00~14:00
"	"	4ヵ月健診	町立別海病院	12:30~13:00
8	金	別海農協地区食生活改善講座	町民保健センター	11:00~14:00
12	火	介護講演会	町民保健センター	10:00~15:00
"	"	母親教室	母子健康センター	13:00~15:00
18	月	肥満予防相談	町民保健センター	10:00~15:00
"	"	物忘れ相談	町民保健センター	電話予約
19	火	3才児健診	町民保健センター	12:30~13:00
"	"	地区健康相談	走古丹地域防災センター	13:00~15:00
"	"	母親教室	母子健康センター	16:00~17:00
20	水	1才3ヵ月歯みがき教室	町民保健センター	10:00~11:30
21	木	4ヵ月健診	町立別海病院	12:30~13:00
26	火	地区健康相談	中春別福祉館	10:00~12:00
"	"	母親教室	母子健康センター	11:00~12:30
27	水	フッ素塗布	町民保健センター	9:30~11:30 13:00~15:30
28	木	1才半健診	町民保健センター	12:30~13:00
29	金	フッ素塗布	西春別ふれあいセンター	10:00~11:30 13:00~15:00
"	"	別海漁協地区食生活改善講座	本別海地域センター	11:00~14:00
"	"	上春別地区食生活改善講座	上春別地域センター	11:00~14:00

問い合わせ／町民保健センター (☎5-0359)



元気

— 1 —



湯西 ^{たいら}平くん
(司)



千葉 ^{ゆきの}雪乃ちゃん
(英二)



佐藤 ^{けいた}圭太くん
(武士)



河嶋 ^{りさ}理紗ちゃん
(利光)



南澤 ^{たける}武琉くん
(斎)



小山 ^{てっぺい}哲平くん
(英一)



お知らせ 伝言板

別海町役場 5-2111
西春別支所 7-2131 上春別出張所 5-6011
上原連出張所 5-7326 尾岱沼出張所 (01538) 6-2166

「町の匠」募集

高齢者などの豊かな経験や蓄積された様々な技能をお持ちの方を「町の匠」として登録していただき、明るい活力のある長寿社会づくりに役立てていくこうとするものです。主として、工芸や生産活動、創造活動、伝習活動などの分野でその技能を社会参加活動などの中で発揮されている方を対象としており、個人やサークル、グループ・団体が登録することができます。○応募期間／平成十二年一月末 問い合わせ／社会福祉係 (内線284)

「北海道立北方四島交流センター」愛称募集

北方領土問題の啓発と、北方四島在住ロシア人との交流の促進を図るために「北海道立北方四島交流センター」を根室市に建設中です。

多くの人に親しまれるよう、愛称を募集します。

○資格／小学生以上の方
○応募方法／葉書、封書、FAX、電子メール。住所、氏名、年齢、電話番号、作品と説明を記入。何点でも応募可能(葉書の場合は一枚につき一点)

○応募先／〒060-8588 札幌市中央区北三条西六丁目 北海道総務部北方領土対策本部愛称募集係
FAX 011-232-1780
電子メール ryoudo.sinko@pref.hokkaido.jp
○締め切り／九月三十日(当日消印有効)

問い合わせ／道庁北方領土対策本部 (☎011-231-4111 内線22-763) 又は根室支庁広報渉外係・北方領土対策室

無料で入浴できます

北海道公衆浴場環境衛生同業組合では、公衆浴場を高齢者の方々に無料で開放します。どうぞご利用ください。

○期間／九月十四日から十六日(三日間)

○対象者／六十五歳以上

○対象施設／清乃湯(別海西本町)、野付温泉浜の湯(尾岱沼港町)

・期間中は何回でもご利用できます。
問い合わせ／町民生活係 (内線295)



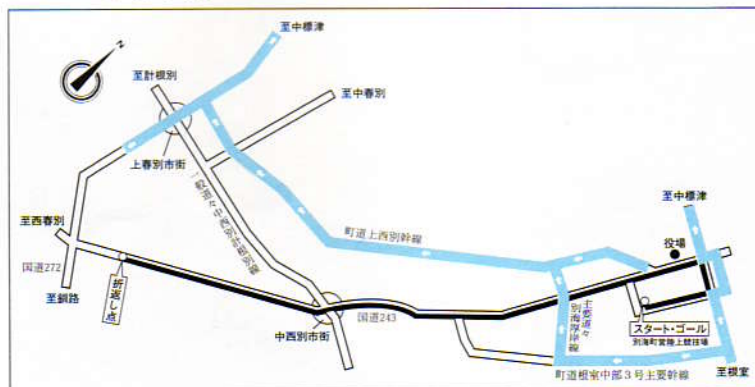
10月3日(日) 第21回別海町パイロットマラソン大会 第14回別海町パイロット健康マラソン大会

交通規制のお願い 10時00分～14時00分まで

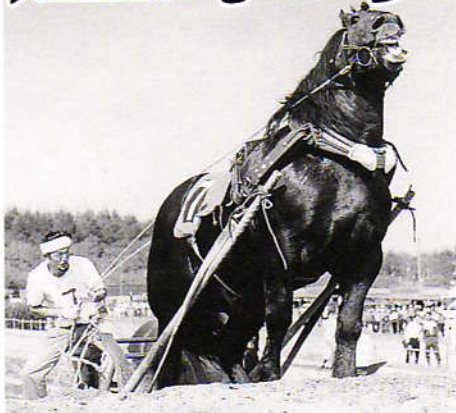
交通規制実施にともなうお願い

1. 交通規制時間帯 10:00～14:00まで(4時間)
2. 別海→西春別間
別海市街地からの車は町道上西別幹線より町道根室中部31号幹線經由一般道々中西別計根別線のう回路をご利用願います。
3. 西春別→別海間は片側通行(一方通行)です。
4. 厚床から西春別方面への車は町道根室中部3号主要幹線より主要道々別海厚岸線を経由して町道上西別幹線のう回路をご利用願います。
5. 警察官、交通指導員の指示に従ってください。

——は、う回路 ——は、マラソンコース



第30回別海町産業祭



9/25(土)・26(日)

2日間、農村広場で開催されます。多彩なアトラクションをご家族でお楽しみください。

地域振興券交付期限迫る!!

「別海町地域振興券」の交付及び使用期限が、平成十一年九月十六日(木)までと迫っておりますので、手続きを済ませていない方は至急役場・町民福祉課へ。問い合わせ／社会福祉係

(内線284)



「札幌・別海ふるさと会」
交流ツアー参加者募集

札幌市内とその近郊には、二百二十名の「札幌・別海ふるさと会」の会員がいます。会員の方々と交流を深めてみませんか。

○日時／十月中旬予定

○交通期間／貸し切りバス(別海札幌往復)

○費用／約二万七千円

○締め切り／十月七日(木)

詳細・問い合わせ

商工観光課(内線470-473)

健康管理、大丈夫

生活習慣病

「生活習慣病」という言葉、もう耳慣れたでしょうか。普段の暮らし方が、高血圧や糖尿病、がんなどを引き起こす原因となることから成人病という言葉に代わって使われるようになりました。

これからの病気は知らず知らずのうちに進むため、日頃からの健康管理が大切です。

保健センターでは、皆さんからの健康相談をお受けしていますが、毎月第一月曜日は高血圧予防相談日として、血圧測定や尿検査の他、食事の塩分量を測定する塩度計の貸し出しも行っています。第三月曜日は肥満予防相談日として、体脂肪検査を行い、生活改善のお手伝いをしています。

また、物忘れやボケ症状が気になる方の物忘れ相談も併せて行っています(あらかじめ予約が必要です)ので、気軽にご利用ください。

問い合わせ／町民保健センター

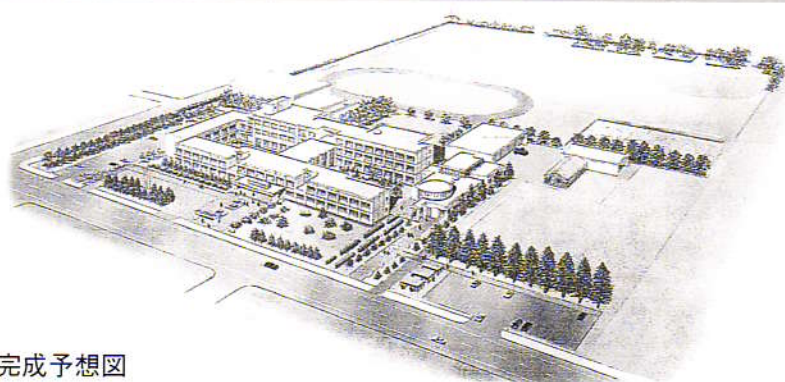
(☎5-0337)

家族のための介護講座

保健センターでは、健康カーニバルの一環として、今、全国で活躍中の老人介護の実践家、下山名月さんをお招きして「家族のための介護講座」を開催致します。受講を希望される方は、どなたでも受講できます。特に現在介護されている方や町内の施設でボランティア

別海高校新校舎 **ただ今、建築中**

新校舎は、現校舎の南側の町道中央中学校通線寄りに位置し、RC造り3階建てでエレベーターが設置され、敷地総面積6.8ヘクタールの中に校舎(8,472㎡)、屋体(966㎡)、他に格技場等が設置されます。また、グラウンドは、陸上競技場、野球場、サッカー場、テニスコート等がゆとりをもって整備され、総工事費は41億円強。予定通りに進みますと、平成11・12年度で校舎・屋体が、13年度にグラウンド・外構が完成する見込みで、平成13年秋に創立50周年と併せて新校舎落成記念式典が挙行される予定です。



完成予想図

イアをされている方、ホームヘルパー有資格者の方には、すぐに役立つ内容です。多くの皆さんの受講をお待ちしています。

○日時／十月十二日(火) 午前十時～午後二時三十分

○場所／町民保健センター

問い合わせ／町民保健センター健康推進係(☎5-0359)



普通救命講習会の開催

心肺蘇生法・止血法をおぼえて、あなたの家族、知人の命を救いませんか。

○日時・場所／九月九日（木）別海消防団第一分団詰所（別海宮舞町）、九月十九日（日）西春別支署二階会議室（西春別駅前寿町）、九月二十九日（水）別海消防団第三分団詰所（尾岱沼潮見町）、いずれも午後一時から四時

○対象者／十八歳以上
○受講定員／二十五名
申し込み・問い合わせ

・別海消防署（☎5-2161）
・西春別支署（☎7-2161）
・尾岱沼分遣所

（☎01538-6-2459）

危険物取扱者

保安講習開催案内

○対象者／危険物取扱者免状の交付を受けている者のうち、現に危険物製造所等において危険物取扱作業に従事している者で、免状の交付又は以前に保安講習を受けてから三年を経過した者、あるいは経過する者等。

○日時／十月七日（木）午前九時三十分から十二時三十分（給油取扱所以外の施設の危険物取扱者が対象）、午後一時三十分から四時三十分

十分（給油取扱所の危険物取扱者が対象）

○場所／中標津消防署講堂

○締め切り／九月二十二日

問い合わせ

・消防本部（☎2-9114）

・別海消防署（☎5-2161）

「北海道苦情審査委員制度」がスタート

道では、道政に関する苦情を受け付け、簡単な手続きで問題の解決を図ることを目的とした「北海道苦情審査委員制度」を導入しました。

この制度は、本人の権利利益に係わることで、道が行った行政処分や行政指導等に不平・不満があるとき、道民の皆さんからの苦情申し立てに基づき、知事から委嘱された苦情審査委員が、本人に代わって関係する道の機関の処置内容を調査するなど苦情の解決に向けて、簡易かつ迅速に処理を行います。

苦情の申し立ては、道庁一階の「道民相談センター」のほか、各支庁にある「道民相談室」で受け付けますので苦情申立書に必要事項を記入の上、提出してください。また、郵便やFAXでも申し立てができますので、ご活用ください。問い合わせ／北海道道民相談セン

ター（道庁一階）

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

（☎011-231-4111）

内線23-441・23-442

FAX 011-241-8181

道路交通センサス

協力をお願いします

十月十四日（木）・十七日（日）にオーナインタビューOD調査を実施します。

この調査の結果は将来ニーズに

柏の実学園からのお知らせ

○『夏祭り』参加のお礼について

柏の実学園利用者で構成する自治会組織「うれしい会」が主催し、8月6日に開催致しました「夏祭り」に関係機関・団体のご協力を得まして多数の町民の参加を頂きましたことについて、心より感謝申し上げます。

○『保護者会』賛助会員の募集について

柏の実学園利用者の父母・兄弟等で構成する『保護者会』が8月9日に設立され、柏の実学園各種行事等を支援するべく活動を開始しました。本会は保護者だけではなく、福祉にご理解があり柏の実学園の諸行事にご賛同・ご支援を頂ける町民も賛助会員として参加することができます。

○ボランティアの募集

柏の実学園では、自治会・保護者会等の組織が設立され、今後各種行事を展開することになり、福祉にご理解あるボランティアを募集しております。

○農産物の販売

柏の実学園の利用者が生産する「朝採り有機栽培無農薬野菜」を憩いの森「ふれあいの店」で販売しておりますので、どうぞご利用ください。

問い合わせ／柏の実学園 総務課 総務係 TEL9-5111

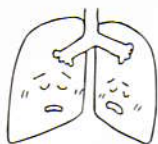
合わせた道づくりの計画策定の基礎資料として有効に活用され、道づくりの土台となる大変重要な調査です。

統計理論で抽出した車の所有者や利用者の方々に、調査票を送付し、調査日での車の利用状況についてご回答いただくものです。

抽出された方々には、後日調査票が郵送されますので、ご協力をお願いいたします。

問い合わせ／北海道建設部道路計画課道路企画係

結核



・結核の現状

昭和20年代には、広くまん延していた結核ですが、急速に改善されたので、片づいたと思っている人が多いようです。

しかし、今でもお年寄りを中心に4万人を越える患者が発生しております。さらに最近は増えてきており、学校、病院、老人ホーム等で発生しています。結核は決して片づいておらず、真剣に取り組まなければならない問題です。

	結核死亡数	新登録患者数	年末の登録者数
平成8年	2,849人	42,742人	132,958人
平成9年	2,742人	42,715人	121,762人

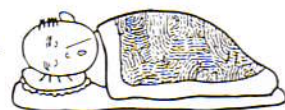
問い合わせ／中標津保健所保健予防係（☎2-2168）

・結核発病の起こり方

うつっても必ず結核になるわけではありません。うつっても結核になる人は普通10人に1人～2人です。何十年も前の若いときにうつった結核が出てくることもあります。

・結核の診断

X線検査をして、写真に影が出るのは結核だけではありません。決め手とするのは痰の結核菌検査です。菌が出ると言うことは周囲の人にうつす恐れがあります。



・早期発見の重要性と発見の方法

結核は早期発見することが重要です。発見が遅れ菌が出るようになれば周囲の人に結核をうつす恐れが強くなります。毎年の検診をかかさず、咳や痰が続いたときはなるべく早く医師にかかることを心がけ、もし結核になった場合も早く対処するようにしてください。

平成11年10月より当院では、 外科・産婦人科で院外処方せんを発行

（その他の科は、12月から内科、その後小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科と進めて行く方針です）

『院外処方せん』とは、病院から交付された処方せんを、患者さんが「保険調剤薬局」に持参し、そこで薬を受け取るものです。

この「医薬分業制度」は、厚生省が国の施策として推進しているもので診断と治療は病院で医師が行い、薬は院外の保険調剤薬局で薬剤師から受け取る制度であり、現在全国的に広く行われています。

別海病院でも平成12年4月からは、「院外処方せん」を全科で実施することとしており、当面は段階的に実施してまいります。

病院から「院外処方せん」を受け取り、「保険調剤薬局」から薬を受け取ると次のような良い点があります。

- 1、待ち時間が少なく、病院と同じ薬が調剤されます。
- 2、薬の説明がゆっくり受けられます。
- 3、薬の重複や相互作用を防げます。（薬歴管理）
- 4、都合の良い時に薬が受け取れます。（4日以内）

◎薬代について

薬は今までどおり健康保険がききますので、「保険調剤薬局」では薬に係る患者負担分をお支払いください。なお、「院外処方せん」では、今までより自己負担が増えると思いますので、ご承知ください。

☆皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

問い合わせ／町立別海病院（☎5-2311）



おめでた・おくやみ

(7月1日から7月31日届出分まで)

お誕生おめでとう



(保護者)

- ▷ 響 遼太郎ちゃん (男) 忠 士 (上 風 連)
- ▷ 高橋 典生ちゃん (男) 治 (別 海)
- ▷ 福原 祥真ちゃん (男) 仁 史 (西春別駅前)
- ▷ 國分 彩音ちゃん (女) 宏 居 (西 春 別)
- ▷ 笹川 翔ちゃん (男) 一 久 (西 春 別)
- ▷ 関根 郁民ちゃん (男) 隆 也 (別 海)
- ▷ 大坂 大和ちゃん (男) 恒 夫 (別 海)
- ▷ 白幡 香音ちゃん (女) 昭 典 (中 春 別)

ご結婚おめでとう

- ▷ 小西 良久・菊池 鈴香さん (上 春 別)
- ▷ 町屋 真一・安田 幸子さん (西 春 別)
- ▷ 安田 英司・加藤 由理さん (西 春 別)
- ▷ 小崎 豊・長久保有哉子さん (尾 岱 沼)

お悔やみ申し上げます

- ▶ 横田 くらさん (76歳) (西春別駅前)
- ▶ 浦瀧ハルノさん (83歳) (西 春 別)
- ▶ 桑代 敏広さん (48歳) (奥 行)
- ▶ 野田 勇さん (70歳) (上 風 連)
- ▶ 田中岩太郎さん (90歳) (泉 川)
- ▶ 中山 葆さん (78歳) (中 春 別)
- ▶ 松倉 芳博さん (49歳) (別 海)
- ▶ 赤間きみ子さん (66歳) (泉 川)
- ▶ 野田 義一さん (43歳) (別 海)
- ▶ 鹿又 隆男さん (40歳) (上 春 別)
- ▶ 高橋 裕さん (69歳) (尾 岱 沼)
- ▶ 小澤 幸子さん (54歳) (中 西 別)
- ▶ 水口 イトさん (88歳) (西春別駅前)
- ▶ 越智 光榮さん (92歳) (豊 原)
- ▶ 近野 チヨさん (68歳) (中 西 別)
- ▶ 笹村 ヨネさん (93歳) (別 海)
- ▶ 日向ヨシミさん (85歳) (泉 川)
- ▶ 宮部喜知弥さん (85歳) (豊 原)

法人の事業所は

必ず社会保険に

法人事業所(株式会社、有限会社など)すべての法人をいいます)及び個人営業(サービス業を除く)で常時五人以上使用している事業所並びに医療法人は、法律によって事業主や従業員の意思に関係なく、健康保険・厚生年金保険に加入することが義務づけられています。

社会保険は病気や

老後の暮らしのそなえです

健康保険は、会社、病院などで働く人が、病気やけがのために仕

事を休み給料をもらえないとき、お産をしたとき、不幸にして亡くなったときに必要な医療の給付や手当金などの給付を行う制度です。また、厚生年金保険は、高齢となり働けなくなったり、障害者となったり、不幸にして亡くなった場合に、年金や一時金の支給を行う制度です。

問い合わせ／釧路社会保険事務所
(☎0154-2210111)



「」存じますか

検察審査会

交通事故、詐欺、おどしなどの犯罪の被害に逢い、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を起訴してくれない。このような不満をお持ちの方のために検察審査会があります。

お気軽にご相談ください。費用は無料で、秘密は固く守られます。問い合わせ／釧路検察審査会事務局 (☎0154-4114171 内線323)

郵便局のミニレター

小型記念通信日付印の

使用について

ふるさと切手「北の鳥たち」が七月二十三日発行されました。これにちなみ小型記念通信日付印の記念押印サービスを実施しています。町内では、別海と中西別郵便局の二局だけの取り扱いです。

図柄は「タンチョウ」、「シマフクロウ」、「エトピリカ」、「オオワシ」の四種類。使用期間は平成十二年三月三十一日までとなっています。ふるさと切手「北の鳥たち」と合わせて記念押印してみたいかがでしょうか。押印希望の方は窓口までお気軽にお申しつけください。

保険料は便利な

自動振替払込みに

簡易保険の保険料の支払いを自動振替払込みにすると月額保険料が一・五%も割引きになって大変お得です。しかも、集金日を気にしたり窓口払い込みに行く時間が省けるので、忙しい人にはピッタリの払い込み方法です。

国民年金

忘れていませんか 国民年金の保険料

国民年金の保険料は、加入者一人一人が支払うことにより、基礎年金制度を支えているのです。

保険料は、20歳から60歳までの40年間にわたり納めることになっています。

サラリーマンなどの第2号被保険者やその配偶者である第3号被保険者の皆さんは、厚生年金保険、共済組合から必要な額が支払われていますから、個人個人が国民年金の保険料を納める必要はありません。

自営業者などの第1号被保険者皆さんは、自分で保険料を納めることになりますが、その方法は、町から送られてくる納付書によるものと口座振替によるものがあります。便利な口座振替を利用すると、皆さんの指定の口座から毎月自動的に引き落とされ、納付のために毎回、金融機関まで出向かなくて済みますので、納め忘れがありません。

もし、病気や失業などで、あるいは学生の親元世帯などで、保険料を納めるのが困難な人は、国民年金担当窓口にて、申し出て、承認されると、保険料が免除される制度もあります。この免除された保険料は10年以内であれば、さかのぼって納めることのできる追納という制度もあります。

社会保険事務相談所開設日

○日時／10月19日(火) 13時～17時

○会場／中標津町商工会

問い合わせ／国民年金係 (内線483)

☆国民年金保険料の納付は、

安心・便利・確実な口座振替・自動払込で!

寄付

・別海町

▽中山貞一さん (中西別)

・特別養護老人ホーム清翠園

▽笹村胤雄さん (別海川上町)

・社会福祉協議会

▽中山葉子さん (中春別西町) ▽田口マツエさん (床丹) ▽小澤勝彦さん (中西別本町) ▽越智雅夫さん (豊原) ▽木村重治さん (西春別) ▽浦滝敏さん (西春別本久町) ▽横田郁夫さん (西春別駅前町) ▽佐藤信夫さん (別海宮舞町) ▽菅野義信さん (別海寿町)

自衛官を募集

○身分／特別国家公務員

○資格／大型自動車、航空整備士、航空管制官、看護婦(士)、衛生士、船舶(各種)、などの資格が取得できます。

▽別海高校ボランティア局 (別海緑町) ▽鹿又愛子さん (上春別) ▽瀬下健二さん (上風連) ▽宮部ウメノさん (豊原) ▽田淵實さん (別海) ありがとうございました。

反射材

光るあなたの心がけ

別海町の交通事故発生状況

発生25件、死者2名、傷者37名

前年同期比 (+5) (-4) (+14)

(平成11年1月1日～8月25日)

「毎月15日は、道民交通安全の日です」



問い合わせ／中標津募集事務所

(02-0120)

編集後記



◆例年より暑い日が続いた夏も過ぎ、子どもたちが楽しく過ごしていた夏休みも終わり、一日ごとに秋が近づき心地よい風が吹く季節となりました。▽漁業者の皆さんは、九月から解禁になる秋サケ漁の準備などで大変忙しい事と思いますが、今年も大漁を期待しています。▽産業祭、あきあじまつり、駅伝大会等イベントが開催され、活気のある季節です。食欲とスポーツの秋を、ご家族で大いに満喫しましょう。▽広報誌に掲載された写真を差し上げますので、統計広報係までご連絡ください。

◆八月下旬、世界陸上大会が行われていました。ある選手は夫婦で大会に出場しており、夫が出ているときは妻が応援に、自分の出番が終わったらすぐに観客席に行き応援をしていました。一番印象に残ったのが妻が走る前、地面に座ると、夫が何気なしに後ろへいき足を立て、妻の背もたれになっていました。何とないやりがあるのだらう。日本人の感覚では恥ずかしいが先に出て、ちよつとできませんよね。でも、哀しいときは泣き、楽しい時は笑っていられるような人間らしく生きたい。(た)



べつかい 歳時記

野の花と挿してそやかた初秋なり

安達静子

今年は記録にもないような猛暑が続いたが、野の花はきちんと秋を知らせてくれる。下駄箱の上の一輪差しは白か黄か、はた又青か。

今西 青峰

○まちの人口／17,287人(－55) 男／8,601人(－27)・女／8,686人(－28) ○世帯／5,837世帯(－21) 平成11年7月31日現在

べつかい 9
SEP 1999 No.431

編集／別海町役場 総務部 総務課 統計広報係
〒086-0205 北海道野付郡別海町別海常盤町280番地
☎(01537)5-2111 FAX 5-0371

別海町ホームページ <http://www.aurens.or.jp/hp/betsukai/default.htm>